

耀

議会だより

KAGAYAKI

やかげ



中川地区江良
西方院まもり神

◎第3回 9月定例会報告

令和4年度・全会計決算審査

◎一般質問、質問台を降りて：ひとり言

◎今、我が町の現状は？ 常任委員会活動報告

◎選挙管理委員会 委員に聞く！〔後編〕



での充実した事業実施を評価 …全会計の決算を承認!

令和4年度 一般会計決算

歳入:	98億5,959万円
歳出:	93億6,674万円
次年度繰越財源:	7,985万円
実質収支:	4億1,300万円

この内、

**2億700万円を、
財政調整基金へ積み立て!**



ざかい君

◇財政調整基金…とは?◇

年度によって生じる財源の不均衡を調整するために財源に余裕がある年度に積み立てるもので“町の貯金”とも言えます! 決算上の剰余金(実質収支)の内、2分の1を下らない額を積み立てることとしています。

9月5日に町長より招集された本年第3回定例会は19日までの15日間を会期として開催されました。
この定例会では重要案件である矢掛町各会計の決算認定審査が組み込まれており、付託された予算決算常任委員会では3日間にわたり集中審査を行いました。
1年間の様々な施策や事業の結果と成果、また各会計の運営・行政サービスや財務状況等について質疑を重ね、当該事業年度の検証を行いました。
各会計の決算案は、最終日にその審査概要が委員長から報告され、一般会計決算のみ反対・賛成それぞれの立場から討論があり、採決の結果、議会は賛成多数で、他の会計決算も含め可決承認しました。

質疑 地域福祉バス事業の費用対効果は? 福祉タクシー券事業との兼ね合いは?

答弁 ここ数年のコロナ禍で利用率は下降し以降は横ばいの状況。一方、福祉タクシー券利用者は増加傾向。両方を組み合わせた利用方法を提案しつつ利用者の意見を聞きながら検討を進める。

行政の取り組みを質す!〈主な質疑応答〉

質疑 障がい児の通所支援について、放課後デイサービス事業の給付額、また送迎サービスの有無など概要を問う。

答弁 同事業の給付対象人数は事業年度末で75人、給付総額は8964万3241円。
町内には、発達支援センターやかが・児童デイサービスまきび・あくとてらこや・ホハル美川の4事業所がある。
送迎サービスは一部の事業所が行っているが全てではない。

質疑 国保加入者を対象とした40歳前健診・保健指導、また特定健診受診について概要を問う。

答弁 40歳前健診は令和3年度末時点で35~39歳の方を対象に案内を送付し希望者を募った。健診受診の後、特定保健指導の対象者となった方にアプローチを行い一定の効果が見られた。
健康診断は20~40代の受診率が低く、受診しやすくなるよう改善を図っている。

また夏場の暑い時期から実施日の変更等を検討するなど、受診率の向上に取り組んでいる。

答弁 現況に沿う形で人数要件等を改正。
新たに公園や植栽の清掃に自発的に取り組まれている団体を対象に「公園型」の申請も受け付けており、まちピカの輪を広げている。



議会だより
YAKAGE(2)

＊令和4年度＊

決	算
審	査

ソフト・ハード両面 堅実な財政運営

＊ 特別会計 ＊



介護保険

歳入	21億7,127万円
歳出	19億9,552万円
収支差額	+ 1億7,575万円



国民健康保険

歳入	16億1,638万円
歳出	15億8,248万円
収支差額	+ 3,390万円



後期高齢者医療

歳入	2億5,038万円
歳出	2億4,765万円
収支差額	+ 273万円



地域開発事業

歳入	2,805万円
歳出	2,259万円
収支差額	+ 546万円

- ＊ 特別会計とは“特定の収入を以て特定の支出に充てるための会計”で、一般会計と区別して経理される会計です。
- ＊ 公営企業会計とは“矢掛町が経営し、支出（経費）を収入（売上）でまかなう事業体”を指します。令和4年度決算はたかつま荘を除く3施設が黒字でした。
- ＊ 両会計いずれも“矢掛町民の暮らし”にとって、なくてはならないものです。



各財産区

歳入	1,062万円
歳出	369万円
収支差額	+ 693万円

＊ 公営企業会計 ＊



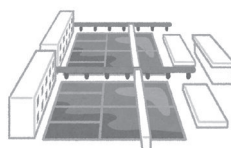
地域開発事業

歳入	17億3,014万円
歳出	17億1,702万円
1.312万円の黒字でした！	



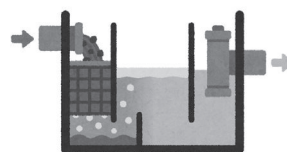
介護老人保健施設事業

歳入	3億 724万円
歳出	3億1,867万円
1.143万円の赤字でした！	



水道事業

歳入	3億 101万円
歳出	2億9,136万円
965万円の黒字でした！	



下水道事業

歳入	7億7,923万円
歳出	7億3,735万円
4.188万円の黒字でした！	

よって議会は、
令和4年度各会計の
決算を承認しました！



ぎかい君



町民 A 子さん

矢掛町の家計（財政状態）はど~なっとるん？

矢掛町が福祉・教育など中心的な行政サービスを行う一般会計の実質的な赤字を示す比率である、○実質赤字比率、○連結実質赤字比率は、いずれも歳入・歳出の差額がいわゆる黒字なので問題なく、町の債務に対する将来の財政負担の程度を指標化した○将来負担比率も支払い能力が十分ある結果（－）を示しています。

また、借り入れ金（地方債）の返済額等々の大きさを指標化することで資金繰りの程度を示す、○実質公債費比率も、基準をはるかに下回る数値（8.7%）でした。



議会だより
YAKAGE(3)



町民B子さん

矢掛町の貯金って
どうなってるン？



ぎかい君

令和4年度決算時
の基金総額は
94億3,044万円でした。

“町の貯金”とも言えるこの基金の存在
こそが、将来負担比率が健全な数値を
示す要因の一つとして大きく関係して
います！

*****主な基金とその期末残高*****

財政調整基金	：	37億2,263万円
減債基金	：	12億758万円
賑わいのまちづくり基金	：	5億6,380万円
こどもみらい基金	：	5億436万円
介護保険支払準備基金	：	2億312万円
国民健康保険支払準備基金	：	1億6,661万円
ほか全41基金の総額	：	94億3,044万円

本会議採決

討 論

【請願第1号】

教職員定数改善と義務教育費国庫負担率堅持をはかるための2024年度政府予算に係る意見書採択の請願（矢掛町議会としての趣旨賛同と政府への意見書提出の要望）

……反対討論……

見いだせないので反対。

矢掛町内の小・中学校の現状に照らすと少人数学級への対応が既にあり必要性が認められず、請願の趣旨に整合せず反対。

……賛成討論……

教職員組合を中心にして働き方改革・現場実態調査を行った結果、過労死ライン（80時間）を超える所がかなりある。精神疾患で多くの教職員が休職せざるを得ない実態がある。教職員を増やさなければ子供たちは守り切れないので賛成。

……反対討論……

本町の義務教育行政は児童・生徒の学ぶ力の向上と社会性を育むことを第一義に、教育支援員やサポーターの配置など厚い加配を実施している。

請願趣旨・理由の内容は既に本町では十分担保されており、意見書を政府に提出する意義が

……賛成討論……

学校現場では時間外勤務等が多い状態であり、矢掛町でも多くの教職員がそうだと聞く。子供たちが大きく育っていくという意味で先生の数が必要。状況を認識し、各議会が足並みを揃えて国会に意見書を提出するべきと考えるので賛成。

……反対討論……

当請願には教員の新規採用の確保への要望が盛り込まれているが、文科省は2024年度予算の概算要求の中で新しい取組として大学・民間企業と連携した人材確保と地域教員志望卒の活用に予算をつけている。

更に奨学金の返還支援は事項要求に留めているものの対策の一環としており、国の方でこういった動きがある今、この請願を採択する必要はなく反対。

……反対討論……

義務教育費国庫負担率の堅持を図るようにとの請願内容だが文科省は次年度予算を86億円増額し1兆5302億円とする方針を出した。

この中には教職員定数の増員や教科担任制に係る予算も含まれており請願の内容はカバーされていると判ずるので反対。

……反対討論……

国はGIGAスクール構想の中で1人1台の端末の整備やデジタル教科書の本格導入、広域連携の自治体間での体制強化と支援メニューの充実に取り組むための予算措置もなされており請願の採択には反対。

【採決結果】

7名の議員による賛否両論を交えた討論の結果、本請願は賛成5名・反対6名で不採択となりました。





ひる た まさ よし
田 政 義

(1)ふれ愛バスを有効利用するため
にどの様に運用計画を立ててい
るのか中間報告を問う

(2)農業振興基金の利用計画を問う

10 ページ

提案・要望…あれこれ聞きました！

~第3回~
9月定例会

一般質問



た な か て る お
田 中 輝 夫

(1)国保加入者の人間ドックについ
て

(2)スクールロイヤー制度の導入に
ついて

11 ページ



かわ か み じゅん じ
川 上 淳 司

(1)井原消防署矢掛出張所跡地利用
について問う

(2)湛水防除設備の容量の見直しに
ついて問う

6 ページ



あ さ の つよし
浅 野 毅

(1)2050年二酸化炭素排出実質
ゼロ表明について

(2)矢掛高校生による矢掛町模擬議
会開催について

12 ページ



つち た ま さ お
土 田 正 雄

(1)小学校のプール授業について

(2)農福連携の推進について

7 ページ



は ら た ひ で し
原 田 秀 史

(1)保育士の正規職員化について

(2)旧マルナカ跡地の利活用につい
て

13 ページ



い し い のぶ ゆき
石 井 信 行

(1)かわまちづくり事業について

(2)委託管理について

(3)観光振興アクションプランにつ
いて

(4)災害対応について

8 ページ



ふ く た きょう こ
福 田 京 子

(1)次年度からの子育て支援に係わ
る施策はどう変わるのか

(2)病児保育の必要性をどう捉えて
いるのか、見解を問う

14 ページ



こ づ か いく お
小 塚 郁 夫

(1)介護保険サービスの充実につい
て問う

(2)仮避難所の充実、最低限の備蓄
品の配備について問う

9 ページ

審 議 結 果

* 矢掛町議会ホームページをご覧ください *

<http://www.town.yakage.okayama.jp/gyosei/gikai/gikai.html>

“ 定例議会の審議結果 ” をクリック



携帯電話・スマートフォン
の方はQRコードを読み取
りください。



町民の財産は有効に活用して！ 旧井原消防署矢掛出張所跡地利用

湛水防除設備の容量見直しを！



かわ 川 上 淳 じ 議員

問

「紙ゴミ」の集積場として考えられないか？

答

企画財政課長

同跡地（面積1132㎡）は平成29年度末に井原地区消防組合から矢掛町へ返却の後、整地したもので、周囲には各種店舗が多数あり、今後は商業施設用地としての活用も考えている。

問

旧井原消防署・矢掛出張所跡地の利活用について、計画の有無を問う。

答

町民課長

「ゴミ集積場」としての活用は考えていない。

現在、家庭ゴミは各地区ゴミステーションへの収集形態をとっており、これ以外の収集形態については、民間活力や町民ニーズを含め、研究していきたい。

答

町長

この跡地の不動産価値は非常に高いと認識しており、町民の期待感やニーズに照らし、売り先または貸し先を検討したい。



早期の有効利用が望まれる公有地
（旧井原消防署・矢掛出張所跡地）

問

昨今ゲリラ豪雨が多く、内水氾濫が各地で見られるが、平成30年7月の災害を教訓として、各地区の湛水防除設備の容量見直しを行うべきではないか？

答

建設課長

湛水防除排水機場は整備から数十年経過しており、今後は県営事業による長寿命化事業計画を進めており、令和7年度以降に順次着手の予定である。

これに合わせ能力の見直しについては検討したい。



内水氾濫への対処…排水設備の拡充を！
（中川地区江良：福万地区排水機場）

提言

旧井原消防署・矢掛出張所跡地利用については江良の企業誘致同様、町長の手腕に期待する。

またゴミの出し方については新しい生活スタイルに合った収集形態の研究にも期待したい。

湛水防除排水機場の容量見直しの検討は評価する。

江良の福万ポンプ場では湛水防除では追いつかないと考えられ、一帯は商・工業地となっており、新たに排水機場としての機能を持った排水施設となるように検討をお願いしたい。

質問台を降りて…

ひとり言

6年もの間、利用できていない土地があること自体不思議です。今後このようなことがないように目を凝らしていきます。



議会だより
YAKAGE(6)

小学校のプール授業について問う もっと、農福連携の推進を！



つち だ まさ お
土 田 正 雄 議員

問 コロナ禍によって町内の小学校ではプールの使用を中止していた。

現在、使用を再開する学校がある一方で廃止を検討する学校もあり、プールの在り方も変わってきており町内小学校のプール授業の現状、老朽化している各校プールの今後の活用について担当課の見解を問う。

答 教育課長

今年度は矢掛・山田両校が自校プールを利用した

が、他の5校はB&G海洋センターへ移動し、水泳指導をおこなった。



今年度利用した矢掛小学校のプール

町内各小学校のプールは老朽化しており、来年度以降は全ての小学校でB&Gのプールを利用する予定。各校のプール施設の活用については今後検討する。

問 B & Gのプールを利用する場合、指導する先生の負担軽減と水泳の指導効率を高めるため、専門のインストラクターを利用しているかどうか？

はどうか？

答 教育課長

専門家と教員が連携し最適な教育環境を整えることで「適切な水泳技術」を習得できるよう、前向きに検討していく。

問 「農福連携」とは障がい者や高齢者が農業に携われるよう、国や自治体法人等が支援する取り組みのことであり次の2点を問う。

- (1) 本町の農福連携の現状と推進ビジョンについて
- (2) 農林部局と福祉部局との連携について

答 福祉介護課長

障がい者就労支援として県や就労継続支援事業所などの関係機関と連携し進めており県では岡山県農福連携サポートセンターを設置して取り組んでいる。農林・福祉両部局の連携については、情報共有して事業所や農業者へ提供して

行く。



令岡山県農福連携サポートセンター HP

問 本町における農福連携の取組状況はどうか？

答 産業観光課長

矢掛町におけるサポートセンターを通じての取組は本年度1件のみ。

質問台を降りて…

ひとり言

もっと事業所などに足を運んで情報収集や情報提供をしてほしい！

かわまちづくり・観光予算は、誰のため？ 公の施設管理は公募に！ 一時避難所にも災害情報を！



いし のぶ ゆき
石 井 信 行 議員

問 かわまちづくり事業のデジタルツール・基本設計の落札企業はどこか。地元説明会はいつか。

答 建設課長

同入札は(株)電通西日本岡山支社が落札。合否判定は建設課が行う。基本計画は復建調査設計(株)岡山支社が行い、地元説明会は適切な時期に行う予定。

提言 大手業者の傘下に入り込まないことを望む。

問 指定管理が非公募なのはなぜか？非公募だと業者と行政の間に癒着が生じかねない。見解を問う。公募にすべきでは？

答 企画財政課長

条例施行規則の「当該施設の適正な運営を確保するため必要と認められるとき」との但し書きに適合。

答 町長

指定管理制度では公募による選定が基本的・標準



やかげ西町イベント広場、事務所棟を臨む

的だが、運営が可能で意欲のある団体があればできるだけ町内の法人団体にお願したい。

問 観光アクションプランによればDMOを事務局とした地域創生事業推進協議会へは毎年約1億円の予算が組まれている。予算編成権は町長にしかないと思うが何故このような形が許されるのか？経済波及効果を税込として示せるのか？

答 産業観光課長

観光アクションプランは、内閣府の承認を受けた事業内容を、議会で承認を経た予算を以ってこの協議会に委託して実施している。

問 西日本豪雨災害の教訓として「災害情報」が町民へ届いていなかったと

いう不備が確認された。その上で一時避難所へのテレビやSNS等を活用した災害情報を収集する環境は整備されているか？また簡易トイレの設置についてはどうか？

答 総務防災課長

全ての一時避難所へ災害情報が届くようにはまだなっていない。仮設トイレ設置については協定済みである。



質問台を降りて…

ひとり言

町民と共にまちづくりを本腰を入れてやるうという姿勢があるのだろうか。



議会だより
YAKAGE(8)



こ づ か い く お
小 塚 郁 夫 議員

老後の生活を守る介護保険サービス！ 災害時に必要な一時避難所へ備蓄品！

問

介護保険サービスの充実について問う。

- (1) 要支援・要介護者の総数、
- (2) 要介護認定調査の基準、
- (3) 財政負担の増大と必要なサービスに応じた環境整備に対する町の考え、以上3点、担当課の見解を問う。

答

福祉介護課長

- (1) 令和5年7月末時点で町の要支援・要介護者数は計1044人である。
- (2) 認定調査表は、74項目あり本人・家族からの聞き取り

りの一次判定と主治医意見書を元に介護認定審査会において判定している。



- (3) 町内の介護事業所は、居住介護支援事業所が5カ所、介護保険サービスを提供する事業者が14カ所あり町外の施設も利用できる。
- 一方、介護が必要にならないように町では介護予防を推進している。

問

町内各地区にある一時避難所について問う。
申請と指定、設置の概要と備蓄品配備の内容は？

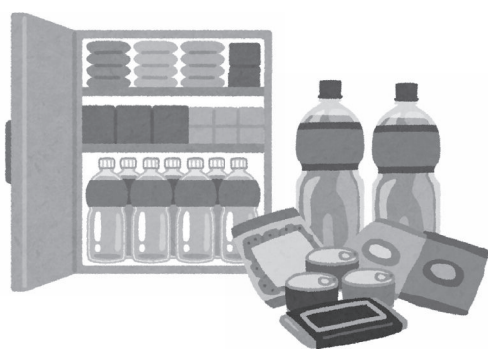
答

総務防災課長

一時避難所とは、当該地区から指定避難所まで距離がある場合や避難経路に危険箇所がある場合に、近くの集会所等を自主的な避難所として指定するもの。

自治会や自主防災組織等が申請し、町が指定するが耐震基準を満たした建物、土砂崩れや冠水の恐れが少ない所などの条件がある。

申請した自主防災組織の育成強化の活動は補助されるが食料品など備蓄品は補助対象になっていない。



すぐに対象に追加する予定はなく、災害等が発生した場合は個別に対応させていただきたい。

提言

災害発生時にはまず自助、自分の身は自分で守ることが前提だが、地域住民の連帯意識で地域を守る共助もまた大変重要だ。

災害発生時に何も持たず一時避難所へ駆け込んだ時は最低限の備蓄品は必要であり、今後自主防災組織の補助対象にこれを追加していただくことを強く望む。

質問台を降りて…

ひとり言

南海トラフ地震発生時に近くの仮避難所で二日から三日は安心・安全に過ごせる備蓄品が必要になると思う。



議会だより
YAKAGE (9)

ふれ愛バスを有効利用するには？ 農業従事者の負担軽減を！



ひる た まさ よし
屋 田 政 義 議員

問

『ふれ愛バス』の有効利用に関して、地域公共交通会議の中間報告について次の点を問う。

- (1) 同委員会のメンバー構成
- (2) 協議概要と計画されている実証実験の内容

答

企画財政課長

(1) 会のメンバー構成は会長は福山市立大学都市経営学部長、副会長に町長、委員には鉄道・バス・タクシーの各事業者及び運転者



ふれ愛バスの停留所

代表、国・県・警察各者、住民代表として自治協議会連絡会・地区公民館連絡協議会・民生委員児童委員協議会・老人クラブ連合会・女性連絡協議会・備中西商工会・町社会福祉協議会・矢掛高校・町議会へ委嘱し総勢23名の委員で構成。

(2) 運行計画に対しては関係者へのヒヤリング・課題等を踏まえ、今後の施策をより良いものにするため今年10月～12月の3カ月間かけ『実証実験』を行う。

問

農業施設の経年劣化により、修理・改修工事が必要になっている。

農業従事者の費用負担軽減のため、農業振興基金を活用できないか？執行部の見解を問う。

答

建設課長

工事費の負担軽減については受益享受者から徴収することが定められており理解していただきたい。各種事業の情報や内容を常に意識し、農業関係者の

を結ぶ役場発着の買い物バスを平日運行（実験）する。利用には年齢制限を設けず運賃は無料とし、町内を1時間弱かけて巡回し1日3便運行する。これによりふれ愛バス運行との連動で利用増につなげたい。またタクシーチケットとの併用による需要増など為此の実験で見極めたい。



農業用水マスの改良

さまざまな要望に对应て行く中で、負担軽減につながるよう努力する。

質問台を降りて…

ひとり言

ふれ愛バスをもっと使いやすく・便利にしたいな。
農業従事者の負担軽減をよく考えて欲しいな。



議会だより
YAKAGE (10)



た な か て る お
田 中 輝 夫 議員

国保加入者の 人間ドック受診への助成を！ スクールロイヤー制度の導入を！ 児童使用タブレットの制限強化と指導を…

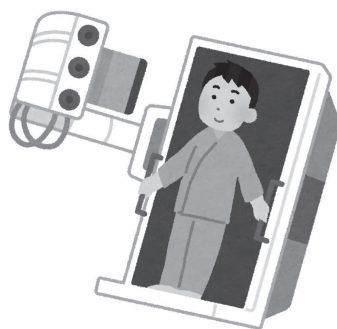
問 国保加入者の人間ドック受診に対して助成金を支援してはどうか？

答 健康子育て課長

国民健康保険の現状は加入者の減少や一人当たりの医療費増加傾向など財政運営は大変厳しいが、被保険者の健康維持と保険税の抑制とに努めている。

令和4年度の健診受診率は42.7%で、受診率向上のため新たな施策を検討中だが、人間ドックの助成支

援は健診機会の確保と受診率向上の目的に合致しており財源確保等の問題もあるが前向きに検討していく。



問 矢掛病院で人間ドックは実施できないか？

答 病院事務長

人間ドック実施となると一般診療と分けて行う必要がある。

検診部門の施設や医師・医療専門職をはじめ担当職員の人数確保の問題があるので、現状では実施が難しい状況である。

問 学校で起こる様々な問題対応として「スクールロイヤー制度」の導入について本町の見解を問う。

答 教育課長

学校内でのトラブルについてはスクールワーカーなどの活用で適切に対応しているが、法的な視点が必要とされる場合など子供達の最善の利益保護のためには意義ある制度と考える。

問 いじめや不登校の現状と対応について問う。

答 教育長

令和4年度のいじめ件数は、小学校12件・中学校1件で、早期発見・早期解決の方針のもと、アンケート調査・個別面談・家庭訪問を実施し、各関係機関と連携して対応している。

不登校は小学校5人・中学校14人で、登校支援員・

教育支援員・適応指導教室への配置など行っている。



児童生徒にとって安心できる居場所となること、また児童生徒との繋がりを切らせないための方策としてICTを活用した不登校対策に取り組んでおり、子供達が笑顔あふれる豊かな人生を送ることができるよう努めていく。

質問台を降りて…

ひとり言

学校では様々な問題が起こるが、タブレットを持ち帰り、帰宅後トラブルを起こさないように指導を望む。



議会だより
YAKAGE (11)

町民みんなで ゼロカーボンシティを表明しよう

矢中生、矢高生みんなで 郷土矢掛を盛り上げよう

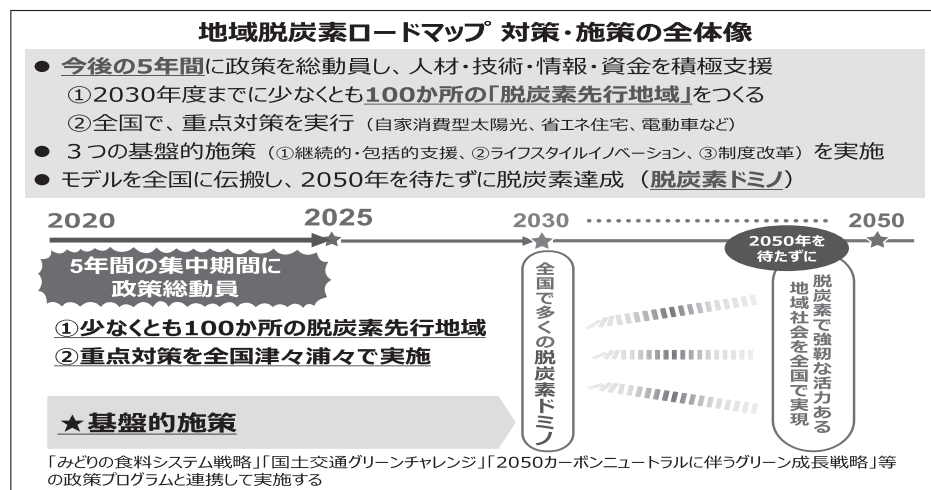


あさの 浅野 毅 議員

問 環境省は2050年に二酸化炭素実質ゼロを目指す旨を宣した首長及び地方自治体を「ゼロカーボンシティ」としている。矢掛町は平成4年7月にクリーンな町宣言を発しており環境問題意識については先進自治体であり、県内では岡山県をはじめ18自治体がこれを表明している。先進性を発信するという意味でも本町として早急これを宣言するべきと思うが執行部の見解を問う。

問 例年矢中生、矢掛模擬議会が開催されている

答 町民課長
地球温暖化対策は世界共通の課題となっており、日本では2050年までにその要因である温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」を目指している。本町としては防犯灯のLED化や、広域連携で進める高梁川流域カーボンニュートラル研究会に参画し温暖化対策に取り組んでおり、ご指摘の宣言について近隣市町と共に進めていきたいと現在考えている。



出典：内閣官房「国・地方脱炭素実現会議」（令和3年6月9日）資料

答 教育課長
昨年岡山県は、県議会における高校生模擬議会を開催した。が、同じように矢掛高校も開催すべきと思うが、担当課として見解を問う。

質問台を降りて…

矢掛の将来について大きな課題である環境問題について一石を投じたつもりだが、やや空振りに終わったような気がする。

今後はもう少し具体的に提案をしたい。

公立13校・私立4校から計67名の高校生が参加し、議長・議員・傍聴者の役割で議事運営に取り組んだ。

特筆すべきはインターネットを通じて県内の多くの高校生が傍聴できたことである（矢掛高校は不参加）。

教育課としては来年70周年記念事業に向けて矢中・矢高の生徒が協力し町の未来やまちづくりについての考えをより一層深める機会を設けたいと考えている。



はら だ ひで し
原 田 秀 史 議員

正職員化を進め、 将来を見据えた園の運営を図れ！ 大きなビジョンの中での 有効活用を図れ！

問

本町では、現在72名の保育士の内、約7%の5名が正規職員でいずれも正・副園長職に就いている。今後、現行体制維持への懸念から次の点を問う。
(1)井笠管内4市町の正規保育士の割合
(2)先を見据えた人事面での園の運営と正規職員化

答

総務防災課長
管内の公立施設の正規職員の割合は井原市51%、笠岡市56%、浅口市61%、

答

町長

現体制は、国の三位一体改革を迫られる中、いかに持続可能な保育園経営を行うのかという議論の末の結果であり、今後は社会情勢や国の動向、保護者のニーズを見極め、現状の雇用形態を維持した上で、並行し、公設民営化や指定管理制度の活用等を研究する。



認定こども園の保育風景

里庄町は100%である。町の想定としては園長としての能力・資質がある会計年度任用職員の登用を諸手当等、待遇面の改善を図り進める。

問

令和2年度購入の旧マルナカ跡地は、現在イベント会場や駐車場として使用しているが、今後の利活用について町長に問う。

答

町長

この土地は町の中心部の大型駐車場としてだけでなく、様々な機能を有しており、観光客の増加も見据える中で、当面は駐車場として活用するのが妥当だ。広い敷地であるので、一部を「憩いの広場」として活用するなど検討したい。将来の矢掛のまちづくりを考える上で、この土地は

提言

現行の保育園の運営体制から23年が経ち「異次元の少子化対策」が掲げられ、保育の量から質への転換が求められている。正規職員化を進め、園長職などの管理職への登用を図るべきである。

質問台を降りて…

ひとり言

一般質問は通告の内容に則った発言を心掛けて行きたいと思う。そうでなければ通告制が担保されず、議会の示しがつかなくなる。

町民にとって貴重な財産なので、様々な観点から有効活用を図りたい。



旧マルナカ本陣店 跡地風景



議会だより
YAKAGE (13)

次年度から『子育て支援』どう変わる？

病児保育の必要性は増大する!!

町として今後の展望はあるのか？



ふく だ きょう こ
福田京子 議員

問

国が示す次年度からの子育て支援に関する施策の主な内容と、年間出生数、認定こども園・町内3保育園の定員を問う。

健康子育て課長

政府は次元の異なる少子化対策として様々な施策を既に始めている。

(1)妊娠届出時の出産応援給付金5万円、(2)出産後の子育て応援給付金5万円、また出産育児一時金が50万円になった。

令和4年度の出生数は64名で、来年度は健康子育て課に「こども家庭センター」を設置する予定である。
認定こども園・保育園の定員は計460人で、定員決定の基準は町の条例施行規則による。また年齢ごとの面積基準や保育士の配置基準により入園可能な園児数が決まる。



令和2年度開設された認定こども園

子育て支援センターでは子育て親子の交流の場の提供と促進、子育てに関する相談や援助の実施、関連情

問

病児保育の必要性をどう捉えているのか？

答

健康子育て課長

県の病児保育事業広域相互利用制度で指定している施設が近隣にあり、笠岡市・総社市各1施設、倉敷市4施設で対応している。

子ども子育て支援ニーズ調査では、お子さんが病気で保育園等を利用できなかった人はかなりおられるが「他人に預けるのは不安・親が仕事を休んで対応」との回答が多く、これら結果から現状維持としている。

答

町長

少子化対策は町の課題であり一層の対策が必要。移住・定住施策としてはアパート建設補助の実施など若い世代に対し魅力ある

まちづくりを進めていく。
また時代の変化に応じた子育て施策やPR活動を積極的に進めていく。

要望

社会の変化に伴い将来を見越した先進的で独自性のある施策展開を望む。



質問台を降りて…

ひとり言

仕事も子育ても両方ともに精一杯打ち込める環境を保障したいものです。



議会だより
YAKAGE (14)

議会傍聴見聞録 ～議事堂から～

執行機関と議決機関が一堂に会する定例会〈本会議・委員会〉へ傍聴に来場された町民の方々からのコメントを紹介し行政・議会への関心・見える化を推進します。

当議会へ初めて傍聴にうかがいました。明るく清潔感のある議場で快適に耳を澄ませることができました。

適度な緊張感が漂う中、各議員による闊達な質問に対して、執行部による丁寧な答弁が返され、機能的な議会運営を垣間見るに至りました。

予想外に傍聴者の数が多く「矢掛町民の身近な政治への関心の高さ」もまた、うかがい得ました。

《令和5年9月6日・一般質問》

形式ばった本会議よりも込み入った話し合いを期待して予算決算常任委員会を傍聴。時代がかったお堅い「議員紹介」といった面倒な手続きもなくスムーズに会場へ。斜に構えていたイメージが一新。ごく内輪の「田舎の寄合」かと想像していたが全議員が出席。執行部は三役揃い踏み。

厳粛な空気感を保ちながらも和やかに具体的な意見が丁寧かつ建設的に交換される様子に感服した。町民ひとり一人にまで行き届く姿勢を今後も期待する。

《令和5年9月13日・常任委員会付託審査》

笠岡市 森山竜一さん

第3回9月定例会では一般質問に引き続き予算決算常任委員会の付託審査へも傍聴のためご来場いただき感謝申し上げます。

委員会での質疑応答は行政施策そのものの検証であり、特に今回の審査は決算認定ですから、事業の成否や予算措置の妥当性など、次年度へ反映するべく対処対策のベースともなり得る重要な審査であると心得ています。

頂戴しましたご意見ご感想を糧(かて)に、今後もしっかりと職責を果たして参る所存です。またの傍聴を心よりお待ちしております。



ざかい君

議会傍聴

してみませんか？

○定例会本会議や常任委員会はどなたでも傍聴が可能です(お子様連れも可能)。

○定例会開催期間中は庁舎3階にある議会事務局が受付窓口です。

本会議

一般質問

- ・総務文教常任委員会
- ・産業福祉常任委員会
- ・予算決算常任委員会

②総務文教・産業福祉両常任委員会の傍聴に関しては委員長の許可が必要

※プラカード・カメラ・その他録音機等、器物の持ち込みはできません

※拍手・発言議論は不可。ただし緊急的な途中退室及び入室は可能です

お問い合わせ
矢掛町議会事務局
☎82-1119

議会ホットライン

矢掛町議会は

町民の皆さんに開かれた議会

を目指します。

皆さんのお声をぜひお届けいただきたく議会に対するご意見・ご要望の受付窓口として、議会直結の『ホットライン』を開設しました。お気軽にご利用下さい。

☆ファックス専用 ☎(82) 9020



議会だより
YAKAGE (15)

ひと・まち：視察・考察、チエツク！ 今、我が町の現状は？【常任委員会活動報告】

本町議会は県内12町村で唯一・最多である4つの常任委員会を組織しています。

定例会における議案の付託審査のみならず委員会ごとの所管事項については不断の調査研究に臨んでいます。

その中で町民生活に直接関わる役場各課が執り運ぶ施策や事業、また担当諸業務を対象とする「総務文教常任委員会」と「産業福祉常任委員会」にスポットを当て報告します。

あわせて10月に開催された第2回臨時会の概要も議会報告としてお知らせします。

産業福祉常任委員会

当委員会は本年8月17日に所管の公共施設を巡回視察しました。

まず、更新工事中の上水道施設『東川面浄水場』を訪れ、工事の進捗状況ほか新施設の機能の概要等について



新設の東川面浄水場の巨大なタンク

説明を受けた後、質疑応答を行いました。

平成30年の災害時に同施設は浸水し一時的に機能停止となりましたが、新しい施設では(1)敷地のかさ上げ(星田川堤防と同じ高さ)(2)ポンプの基礎を限界位置まで上げると共に電源を2階へ設置。以上のような対策を講じることで、先の西日本豪雨災害時のような状況に遭ったとしても「被害を最小限にできる」とのことでした。

また最も重要な上水の消毒方法については最新の消毒方式を取る

とのことで「強力な殺菌方法である紫外線照射方式(UV殺菌)により安心安全なお水の提供が可能となる」と上下水道課長から説明がありました。

更に上水の安定供給の「みなもと」となる新しい水源(井戸)予定地も視察しました。



次に下水道施設として、東三成と中の両地区にある汚水中継ポンプ場を視察しました。

電気代等、物価高騰の現状はあるものの今後の運営費の負担軽減を図ることでした。

農業集落排水処理施設として公共下水道と統合し、「経費削減と効率化」を図るため、既に完成している東三成の同施設に引き続いて中の施設では工事が進行中でした。

西三成と東三成のポンプ場の統合で、年間約200万円の経費が節減できっており、中ポンプ場の統合によって



東三成汚水中継ポンプ場で視察

町民生活に密着した上・下水道の安定運営については、所管する委員会としてしっかり見守ってまいります。



議会だより
YAKAGE (16)

再議…指定管理者の指定案件 第5回矢掛町議会・第2回臨時会

10月4日に招集された臨時会は、去る9月に開催された第3回定例会での議決議案についてその審査・採決に関する取り運びに瑕疵があったため町長から収集されたものである。

当該議案は、新設の「西町イベント広場」の指定管理者について議決を求めるもので、執行部は株式会社やかげ宿を指定し、議会はこれを可決していた。

しかし9月定例会の終了後、執行部・議会事務局双方が当案件の審査・採決に当たっては除斥措置（※）の必要があったことに気がつき臨時会の開催を決定。

※除斥…直接利害関係のある議案・議事については審議に参加できない制度（地方自治法第117条）。該当する議員は議場から退席しなければならない。

※再議…議会の議決に異議や瑕疵がある場合、長が議会に対して審議と議決のやり直しを求めるもの。

議会は、執行部から同議案の再審議を求められ9月29日に議会運営委員会を開き再議（※）に付すこととした。再議事由は、議員中に株式会社やかげ宿の役員がいたことによるものである。

本会議では「原則公募」に関する質疑及び討論を経て採決の結果9月定例会の議決同様賛成多数で可決した。

総務文教常任委員会

当委員会は8月22日・25日の両日、所管である教育部門の視察を行いました。

矢掛中学校では新しい取組として「生徒の主体性を育む」ことに重点を置き「社会変化に対応できる子どもを育成する」旨、校長は見解を示されました。

委員からは校則の件や単元テストについて

「先進的な取組ではあるが町民からは様々なご意見が出ている」と質問が出されました。

校長は「学習指導要領では単元ごとに授業を行うとあり、徐々に定期テストから単元テストへ移行し、同時に習熟度テストを実施し学力の定着を図る」と方向性を示しました。

各委員は『あらゆる生徒へのフォローの重

矢掛中学校での活発な質疑応答



要性』について学校側との共通認識を確認しました。また不登校やいじめの問題では、対策として「この教室」への教諭の加配を受けて対応しているとのことでした。

矢掛小学校では状況の確認



が配置され、他の市町より英語に親しむ環境が整備されているとのことでした。委員会は小北中学校も巡察し、質疑応答の中で今後も少人数校の現状把握の必要性を確認しました。

委員会として今後所管する業務に対しては、教育現場のみならず調査・研究を行ってまいります。



スピーチ・質問の声を聞く

矢掛町 選挙管理委員会 委員に聞く! 【後編】

明るい選挙の推進…有意義な選挙啓発活動へ

前編では各選挙における適正な管理・執行に関して、選挙管理委員会としての実体験を交えたご苦労話や職責に対する様々な思いを掲載。選挙啓発活動…その中心にあるものは何か？有権者に対する投票行動をいかに促進していくかにスポットを当て『投票率の向上』すなわち住民参加による選挙の意義について、委員会と議会との懇談・協議内容(後編)を報告します。



武委員長 矢掛高校の生徒さんが、期日前投票の「〇×クイズ」の動画を作成された。

投票行動に前向きに取り組んでいる人もいれば「行っても行かんでも一緒」「何も変わらない」と言う人も時々いる。ちよつと考え方を変えて欲しいと思う。

花川委員 子育て世代の方々は「矢掛は子育てに優しい町。不満はない」と言われる。

そのあたりが選挙・行政・自治等々への無関心に繋がっているのではと時々感じる。

町政・施策に対する信任とも取れなくもないが、義務を果たすこととは別の話。投票行動への判断は様々だ。

中本職務代理者 町内の様々な組織や団体で投票率の向上に対する良い方策等を聞きながら、地道に選挙啓発活動を進めて行こうと考えている。

花川委員 全く同感で自治活動・公民館活動など地域の活動へ参加することで地域課題や住民の声を吸い上げてくれる代表者選任の必要性を感じるはず。

その中で投票行動は高まるのではないか。

岸野委員 交通手段が無い方や、投票所に行っても上手く字が書けない方もある。

そういう所の改善を図れば投票行動は高まるのではないか。

武委員長 今は横の繋がりとというか、地域の関係性が希薄と思う。

加えて周知徹底ができていないからか、投票日は知っていても、どこで投票できるかわからない方もおられた…。

屋田委員 出前講座等催しの場を利用し、投票行動の大切さや権利と義務について、選挙管理委員会さんに解説していただいたら、投票行動が促進され投票率も上がるのでは？

福田副委員長 選挙管理委員会だからかえって言いにくいこともあるのではないか。交通手段を持たない

方、障がいがあつて字が上手く書けない方がおられる中で、対応するにしても個人情報保護の規制や横の繋がりが薄くなっている状況で、委員としての働き掛けは難しいように感じる。

花川委員 投票行動を促進する流れを作る事も大事だ。ハードルがあるが「ふれ愛バスで期日前投票を！」などセットにして投票行動をPRするとか…。

土井委員(コーディネーター) 選挙管理委員会さんから何かご意見は？



武委員長 一番身近な

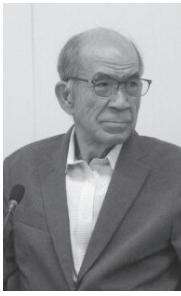
町長・議員選挙の時に
家庭内で選挙について
話し合っている。戴きたい。



できれば両親がお子
さんを投票所へ連れて
行き投票行動を体感さ
せ権利と義務について
教えてあげて欲しい。

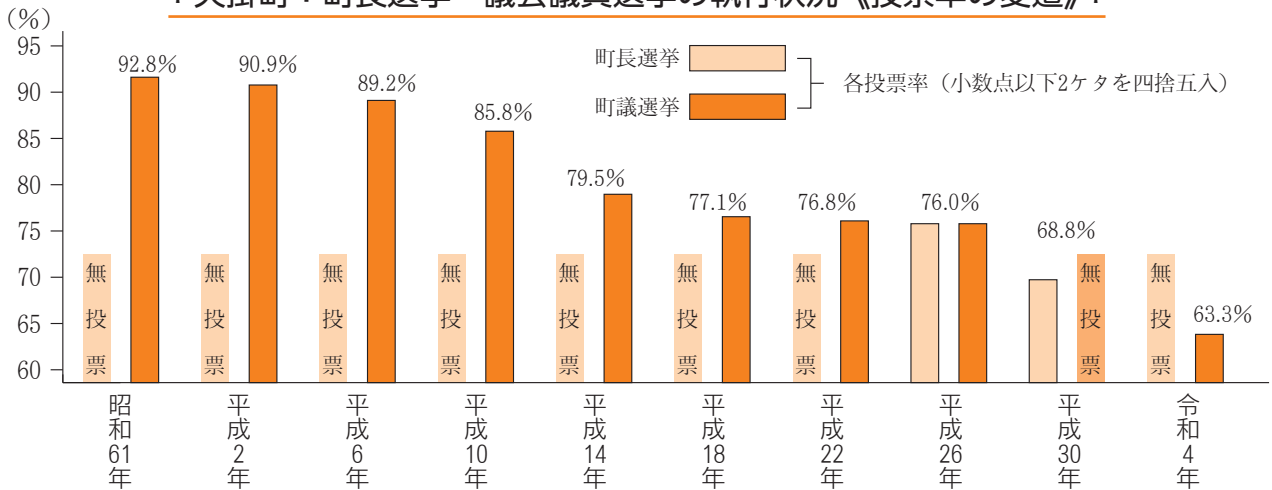
中本職務代理者 期日

前投票は朝8時半から
夜8時までと長く「買
い物ついでや仕事帰り
にどうか」と伝えれば
投票率も変わるのでは。

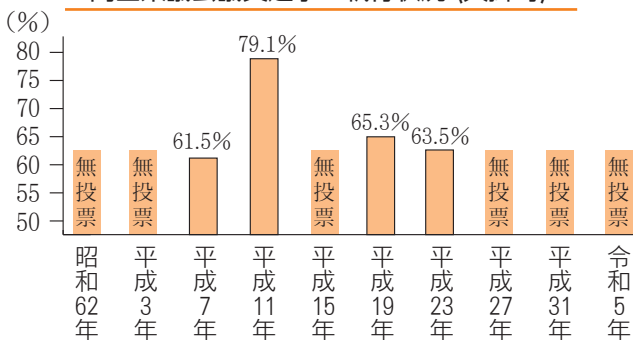


中学生議会や小学生
対象の選挙に関する学
習も有効だと思う。

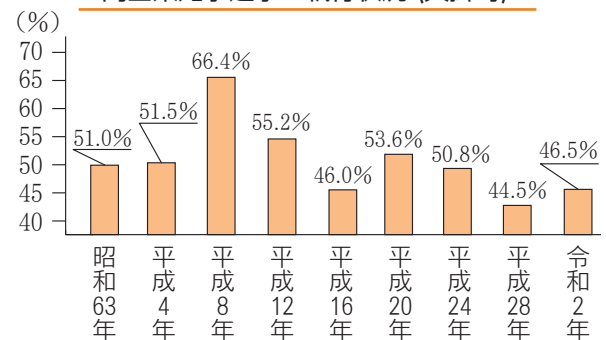
矢掛町：町長選挙・議会議員選挙の執行状況《投票率の変遷》



岡山県議会議員選挙の執行状況〈矢掛町〉



岡山県知事選挙の執行状況〈矢掛町〉



中嶋委員 「投票しな

くてもあまり変わらな



い」という意識をどう

変えていくか。常時関

心を持てる様に研修会

等の開催も良いが、い

かんせん声を掛けても

人が来てくれるかどう

か：これが課題だ。

妹尾委員 笠岡市では

小学校6年生を対象に

子供議会を開き、政治

に関心と要望を持たせ

る取組を行っていた。



矢掛高校の中国地方

最初の期日前投票所の

校内開設など今この様

な取組が必要と思う。

小塚委員長 以前私の

住む地区の選挙管理委

員さんは普段から割と

アピールされていた。

身近な人が委員さん

だと選挙に行かなけれ

ばと強く意識した。

有権者の受け取り方

は様々と思うが、平時

から何らかのアピール

や取組は重要なことと

今回の懇談で感じた。

福田副委員長 選挙管

理委員の皆さんは選挙

の時だけでなく普段か

ら選挙に対する意識を

お持ちなのだとご苦労

を感じた。

「公正な町・住み良い

町」であり続けるには

政治（行政）は大事だ。

選挙は町民が関わる

ものなので、今後より

一層の御尽力をお願い

申し上げます。

矢掛町選挙管理委員会 審判員「おわり」



個人や団体を問わず、趣味や文化講座・生涯学習・ボランティアなど様々なジャンルで明るく元気に活動されている“町びと”取材し、豊かな我が町「やかげ」を紹介します。

桃源郷はなしの里 の皆さん

平成30年3月、地域住民の皆さんの思いが実を結び山あいの豊かな自然に囲まれた美川地区羽無にオープンした『桃源郷はなしの里憩いの館』。

木の温もりを感じる作りの同施設は、町の喧噪から離れた別天地にたえず、文字通り憩いの場所です。来訪客を迎えるのは全員ここ羽無在住の皆さん。



木から直に実を落とす…栗拾い

「今の取組の話が出たのは約10年前。活動資金を集め、海棠祭を中心に地元で運営して行くんだという活力と気概に満ちていた」と代表の長屋裕介さん。

しかし時の経過と共に今は「転換期」とのこと…。地域住民の高齢化によるマンパワー不足は年を追うごとに顕在化しており、運営の大変さが伝わります。

取材当日は旬のイベントの「栗拾い」に町外からのご家族連れが多数お越しに

なっていました。ながらも一生懸命もてなすスタッフの皆さんの対応に子供達の楽しむ歓声が里山に響き渡っていました。

長屋さんは先を見据えていつまでもこの施設を核とした地域の賑わいを継続するには「事業継承への対処が必要」と述べられ、今後の運営に言及されました。

小さくてもキラリと光る地域の賑わいは『ひと』があつてこそ成り立つものだと強く感じた取材でした。



編集後記

日進月歩：洗練された議会広報紙を目指して今号から新しいことに取り組みました。

その一つは、高齢者をはじめ多様な方々に分かりやすく読みやすいように工夫された字体であるUDフォント（ユニバーサルデザインフォント）の採用です。

更に紙面構成では、文字量を減らし写真や図表で内容を補完しながら「スムーズな情報伝達」を目指し今後も進化に臨んで参りますので、変わりがつつある本紙にご期待下さい。

(H・H)

議員閑話 こころ音



矢掛町議会
議員

コロナ「5類」感染予防 小塚郁夫

新型コロナウイルス感染症の位置付けが、令和5年5月に新型インフルエンザと同じ5類となりました。

今年の夏は4年振りに、旅行・花火大会・盆踊り大会等のイベントが復活し、全国の観光地は家族連れや旅行者で賑わい、多くの人が海外旅行や帰省などによる移動が増えました。

マスクの着用も少なくなりましたが、新型コロナウイルス感染症が終息した訳ではなく、家庭内での発熱や咳、味覚や嗅覚の異常症状が出た場合、早めに診察・治療を行うと同時に十分な休養もお取り下さい。

再び感染が増加していますが、65歳以上の重症化リスクの高い方は早めに接種を受け、周りに広げないためにも皆さんで感染予防をしていきましょう。